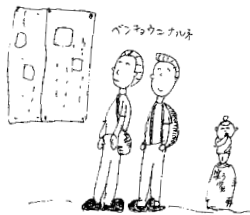


シリーズ 阿久比を歩く ⑧5



支援センターで仲間とくつろぐ高齢者
 今回はオアシスセンター周辺をぶらり歩いた。
 役場前の信号を渡り、殿越川に沿って階段を下りる。「親水公園」にたどり着く。公園には川の中に入つて水遊びが出来る場所が設けてある。彼岸も近く、川の中に足を入れるには少し水が冷たい。アメンボたちが川の中に造られた石の足場を飛び越えながら川を渡り、オアシスセン

ターへと向かう。
 オアシスセンターは昭和六十三年に完成。保健センターと高齢者生きがい活動施設を併設した施設だ。センター内は土足厳禁。スリッパに履き替えロビーへと進む。口元に手を添えて、にこやかにほほ笑む少女（北村西望氏作『笑う少女』の銅像）が私たちを出迎えてくれる。
 一階と二階が保健センター。健康日本21あぐい計画「めざせ！ハッピーライフあぐい21」の下、町民の健康づくりを推進するために、健康相談や健康診断などの保健サービスを行っている。
 廊下には、普段保健センターで行われている活動内容などが展示されている。手作りで、心のこもった素敵な作品に仕上がっている。幼児健診の写真に写る母子の表情は自然で、とてもほほ笑ましい。
 「子どもがかわいいのは、小学生に上がる前までだなあ。」「そうなんですか」と友人が興味深げに、私に聞いてくる。「君も子どもができれば

分かると思うけど、母親にしかれると幼いときは僕にあまえてきたものだったけど、今なんか四年生の娘は近寄ってもこないからね。一時間も経たないうちに『お母さん、お母さん』だよ。『近寄らない別の理由があるんじゃないですか？』
 三階は「生きがい活動支援センター（デイサービス）」と「シルバー人材センター」が並ぶ。生きがい活動支援センターをのぞいてみると、おばあちゃんたちが遊びにきていたボランティアの方に「お茶でも飲みながらおばあちゃんたちと話をしたらどうですか」と勧められる。
 言葉にあまえて、お茶をこちそうになる。もうすぐ九十七歳になるという新美政子さんは「ここでみんなと話をして、少しでもだけ晩酌するのが健康の秘けつかなあ」と笑顔で話

す。
 帰り際にロビーで再び見た「笑う少女」と、先ほど出会ったおばあちゃんたちは同じ表情を浮かべていた。



『笑う少女』の銅像

あ
 ぐ
 い
 ぶ
 ら
 り
 旅

施設かいわいを行く(オアシスセンター)